

牛群検定通信 No42

◇種雄牛の選択に迷っていませんか？◇

検定農家であれば、誰でも無料で利用できる繁殖台帳Webシステムの機能として、交配種雄牛情報と調整交配情報の2つが新たに追加されました。これらは近交をさけた適切な種雄牛の選定に役立てることができるものです。

1 交配種雄牛情報

血統登録をもったあなたの牛群の検定牛1頭1頭について、国産種雄牛トップ40を交配した場合の近交係数を一覧にして表示します。ですから、どの種雄牛を交配すれば、近交を回避できるかが一目瞭然です。さらに、種雄牛の遺伝評価値で並べ替えが出来ますので、乳量や肢蹄といった形質を重視しながら近交を避ける種雄牛も容易に検索できます。

2 調整交配情報

候補種雄牛の調整交配が11月から開始されます。今度の新機能では、候補種雄牛の調整交配についても、近交回避出来るようにシステム化しました。候補種雄牛は、最新の若雄ですので、血統的にも近交回避に利用できる魅力的なものが揃っています。また、各都道府県に配布されている候補種雄牛に絞り込んであるので、より使い易くなっています。

3 牛群全体での近交を回避するには？

交配種雄牛を選定するときに、前述の2つのシステムを利用すれば検定牛1頭1頭について、適切な種雄牛の選定に役立てることができます。しかし、多頭化のすすんだ牛群で1頭1頭の検定牛から種雄牛を選定するのは大変です。そこで、今回新たに「近交回避頭数」という新機能を追加しました。

4 牛群近交回避頭数

この新機能では、検定農家で飼養する検定牛全頭のうち、何頭まで近交回避できるか、牛群全体としての近交回避を産次別に検討できます。例えば、初産牛を20頭繫養している農家で、牛群近交回避頭数60%以上と設定すれば、12頭（20頭×60%）以上に近交回避できる国産種雄牛を一覧にして表示できます。もちろん、前述のとおり遺伝評価値での並べ替えも自由自在です。

牛群近交回避頭数の設定は20～80%内で自由に設定することができ、「未經産」「初産」「2産以上」の3区分になっていますので、1頭の種雄牛で産次別に何頭まで近交回避することができるかを把握することができます。

5 試してみましょう！（11月5日開始予定）

すでに、繁殖台帳Webシステムをご利用頂いている方は、次のように操作してみてください。

- 1）画面上部の繁殖台帳メニューのうち「入力」をクリック。
- 2）「個体台帳」または「繁殖疾病台帳」をクリック。
- 3）青色のボタンが増えています。これが新機能です。